



ホップ ステップ ワーク



令和4年12月23日発行
富山県立高岡支援学校
進路指導部

本校では、小学部、中学部、高等部と段階的に進路学習を進めています。

小学部では、基本的な生活習慣を身に付けること、ルールやマナーを守って集団活動に参加すること、生活に生きる基礎的な学力を身に付けることに取り組んでいます。

中学部では、「働くこと」について学び、挨拶や返事・報告など言葉でのやりとり、正確で丁寧な作業をすること、集中力や持続力を付けることなど、働くための基礎となる力を身に付けます。

高等部では、さらに働く力を高めるとともに、卒業後の進路について具体的に考え、主体的に進路選択できるように学習を深めます。

今回は、中学部・高等部の進路学習の取組を紹介します。



高等部1年・2年 特別支援学校 就労支援セミナー <9月>

高等部1、2年生を対象に富山労働局主催の就労支援セミナーがあり、「働くために大切なこと」「働くことの意義」「地域における障害者雇用の現状」について話を聞きました。当日は、たくさんの保護者の方にも参加いただきました。

高岡障害者就業・生活支援センター 管理者 井出 好美 氏の講話より

<働くために必要なこと>

①生活習慣を整える

- ・健康・・・眠る、食べる、排泄するは生活の基本
- ・身だしなみ・・・洗面、歯磨き、ヒゲ剃り、爪切り、毎日の入浴、清潔な衣類

②大きな声ではっきり

- ・挨拶・・・オ「おはようございます」「お疲れ様です」
ア「ありがとうございます」
シ「失礼します」
ス「すみません」
- ・返事・・・「はい」



笑顔で
目を見て
自分から

③休日の楽しみ

- ・仕事を頑張ったら、好きなことをする、のんびりすることも大切

④お金の管理

- ・自分でルールを作って管理できるように練習

⑤困ったときの相談

- ・相談できる力を身に付ける

<在学中に家庭でできること>

- ・基本的な生活習慣＝身の回りの自立
- ・家事への参加（家庭での役割をもつ）
- ・余暇の過ごし方（趣味をもつ）
- ・健康な心と体づくり
- ・言葉で表現する練習
- ・社会経験を増やす（買い物の経験、公共交通機関の利用）



できることから
一つずつ
始めましょう！

作業をする力

正確さ、手早さ
集中力・持続力・責任感

社会での人間関係

挨拶、返事、報告、質問
周りの人と仲良くする
困ったときに相談する

きちんとした生活

食事、睡眠、身だしなみ
決められた日時にきちんと通う
体調が悪いときは家族や支援者に相談する

アルビスクリーンサポート株式会社 代表取締役社長（障害者就労アドバイザー） 安田 泰弘 氏の講話より

<働く目的>

- ①経済的自立
(お金、生活のため)
- ②社会参加
(社会貢献、人とのつながり)
- ③自己の成長(自信)
- ④自立(未来のため)

就業体験は「働く」何かを見つける貴重な体験

- ・通勤の練習
- ・挨拶の習慣（相手よりも先に大きな声で）
- ・時間を守る（5分前行動）
- ・報告、連絡、相談の練習
- ・職場のマナー
- ・体調の管理



保護者のみなさんへ

卒業後の進路について
お子さんとたくさん会話を
して、希望を聞き出して
あげてください。

中学部2年

生活単元学習「働く人々(いろいろな仕事)」 <11月>

手作業、介護、食品の3つのグループに分かれて、仕事体験をしました。

<手作業グループ>



ボルトの袋詰め
説明書折り

<介護グループ>



タオル畳み

<食品グループ>



砂糖の計量
ラベル貼り

体験中は、少しでもたくさんの給料(仮硬貨)がもらえるように、仕事をするときのポイントに気を付けて合格品を多く仕上げようとしていたり、返事や報告をしっかりと行ったりする姿が見られました。

体験後は、作業量に応じていただいた給料を表に貼り、自分の成果を確認していました。働く喜びや達成感を感じることができた体験となりました。

お給料、いくら
入っているかな？



たくさん
貯まったね！



JFEミネラル株式会社

作業服の洗濯
アイロンがけ



ABC-MART

在庫整理、ポップ切り
アンコ抜き



高等部1年

校外学習(福祉サービス事業所の見学)

<11月>

福祉サービス事業所の作業内容を知り、卒業後の進路について考えることをねらい、「はたらくよろこび」「ワークスタかおか」「ワークステんもく」を見学し、作業体験をさせていただきました。



また、「給料は何に使いますか」「夏休みや冬休みはありますか」「何時から何時まで仕事をしますか」など事前に生徒たちが考えた質問にも答えていただきました。



卒業後の生活について具体的なイメージをもつことができた生徒もいました。

家庭でも、今後の進路について話し合うきっかけになればと思います。

高等部2年

校外学習(卒業生が働く職場の見学)

<10月>

働くことについて理解を深め、働く意欲を高めること、卒業後の生活について考えることをねらい、「アルビスクリーンサポート株式会社」を見学しました。

生徒は卒業生が働く動画を見ながら、要点やポイントをワークシートにまとめました。

卒業生には、動画のやり取りで、生徒の質問に答えていただきました。



また、買い物や外食を通して、余暇生活につながる活動もしました。

卒業生の姿に憧れの気持ちを抱き、働くことや卒業後の生活について考える貴重な経験となりました。





ワークスタから
部品の袋入れ
組付け



地域の企業や福祉サービス事業所で実際に働く就業体験を実施しました。
体験を終えた2年生は、6月、11月の2回の体験を踏まえ、「ここで働きたい」「この仕事をしたい」「そのために〇〇を頑張りたい」という気持ちが芽生え、働く心構えができてきました。この後、個々の生徒の適性と能力を生かした進路選択を目指します。

3年生では、進路決定を目指して5～10日間と長い期間の体験を実施しました。実際の通勤を想定し、公共交通機関等を利用して自力通勤にもチャレンジしました。また、体験中に利用者の方と仲良くなったり、できなかったことができるようになったりと体験中の成長もあり、卒業後に働くことが楽しみになった生徒がたくさんいました。卒業までの課題も明確になりました。残り少ない学校生活の中で、個々の課題に取り組み、すてきな社会人を目指します。

ひまわり
部品の組付け、袋入れ



ワークスタおか
部品の計数、袋入れ



アフレックス
おかずのカップ詰め



ワークステんもく
箱作り



ほまれの家 高岡駅南
プラスチック部品の検査
トレイ入れ



ハートワーク
箱折り、折り目付け



シビックプライド新湊
硬式野球ボールの糸抜き



B-らいふ・きゃんぱす
カレンダー巻き



ジョブライフ万葉
部品の針金通し、袋入れ



すこやか26 1号店
手袋の袋入れ



ワークプラザここから
箱の組立



いみず苑
牛乳パックはがし
ネジの袋入れ
農作業、歩行活動



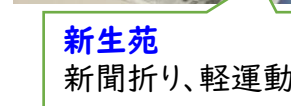
**いみず苑
通所センターさん**
ダンボールの型抜き



えいぶる
箸の袋入れ
箸袋折り



新生苑
新聞折り、軽運動



第2回 就業体験 協力事業所



【企業】

- ・JFEミネラル株式会社
- ・株式会社エービーシー・マート(ABC-MARTイオンモール高岡店)

【就労移行支援事業所】

- ・社会福祉法人めひの野園 作業センターふじなみ

【就労継続支援A型事業所】

- ・株式会社OASIS 就労継続支援A型事業所 ひまわり
- ・株式会社OASIS オアシス砺波
- ・株式会社KK ほまれの家 高岡駅南
- ・株式会社アフレックス
- ・株式会社ハートワーク ハートワーク

【就労継続支援B型事業所】

- ・社会福祉法人手をつなぐ高岡 ワークスタかおか
- ・社会福祉法人手をつなぐ高岡 ワークステんもく
- ・社会福祉法人手をつなぐ高岡 ワークスタから
- ・社会福祉法人手をつなぐ高岡 かごめ苑
- ・社会福祉法人たかおか万葉福祉会 ジョブライフ万葉
- ・社会福祉法人たかおか万葉福祉会 ファクトリーかたかご
- ・社会福祉法人射水福祉会 いみず苑
- ・特定非営利活動法人えいぶる 作業工房えいぶる
- ・特定非営利活動法人 すこやか26 1号店、2号店
- ・特定非営利活動法人b-らいふ b-らいふ・キャンパス
- ・株式会社タカギコーポレーション ジョブステーションさくら 北部事業所
- ・NPO法人むげん ワークプラザここから
- ・一般社団法人シビックプライド シビックプライド新湊
- ・社会福祉法人湊明会 湊明園めるへん

【生活介護事業所】

- ・社会福祉法人たかおか万葉福祉会 サポートかたかご
- ・社会福祉法人射水福祉会 いみず苑
- ・社会福祉法人射水福祉会 いみず苑 通所センターさんが
- ・社会福祉法人野の草会 こもれびの里「こもれび作業所」生活介護事業所
- ・社会福祉法人たかおか新生会 新生苑
- ・社会福祉法人くるみ 生活介護 Beeこぼん
- ・特定非営利活動法人デイケアハウス 手をつなごう



体験内容は、
本校ホームページに
掲載されています。



富山県のホームページに、
障害者福祉サービス事業所
一覧が掲載されています。
最新の情報は、こちらで確認
できます。



進路情報①

グループホーム(正式名称:共同生活援助)とは?

障害者福祉サービスの一つで、施設入所支援と同じく夜間、休日のサービスになります。

世話人といわれるスタッフに食事、入浴、清掃、洗濯等のサポートを受けながら共同生活住宅で暮らし、地域の中で社会生活を送ります。日中は、企業や就労継続支援A型、B型事業所等で働きます。

日中の活動のサポートも受けられる「日中活動サービス支援型」のグループホームもあります。

近年、入所施設の受入れは厳しくなっていますが、グループホームの利用者は年々増加しています。



進路情報②

就労移行支援、就労定着支援とは?

障害者福祉サービスの一つで、一般就労を希望する人を企業等での就労につなぐサービスになります。

訓練により仕事のスキルや対人スキルを身に付け、働くために必要な力を高めます。原則、利用期間は2年間で、工賃の支給はありません。

適性に応じた職場開拓、求職活動に関する支援が受けられます。就職後も職場への定着のため半年間、支援を受けることができます。

また、就労の継続のために、その後さらに3年間、就労定着支援を受けることが可能です。

